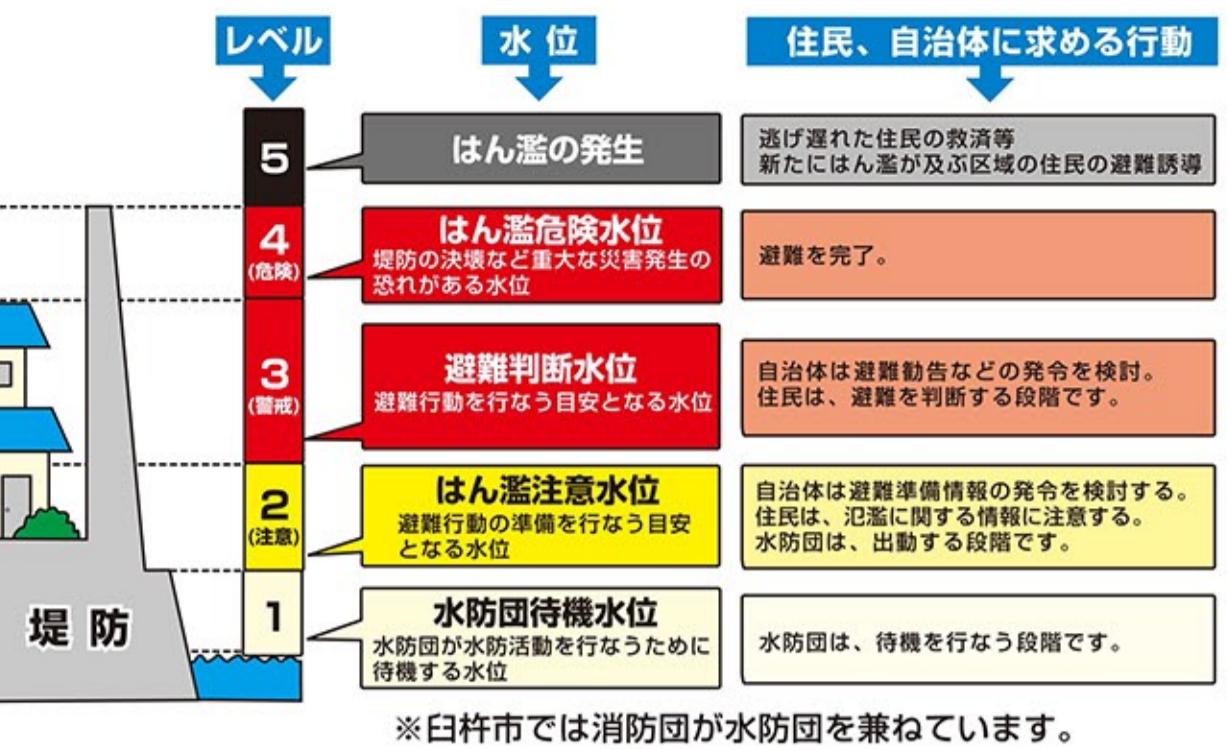


地震から身を守る心得10ヶ条

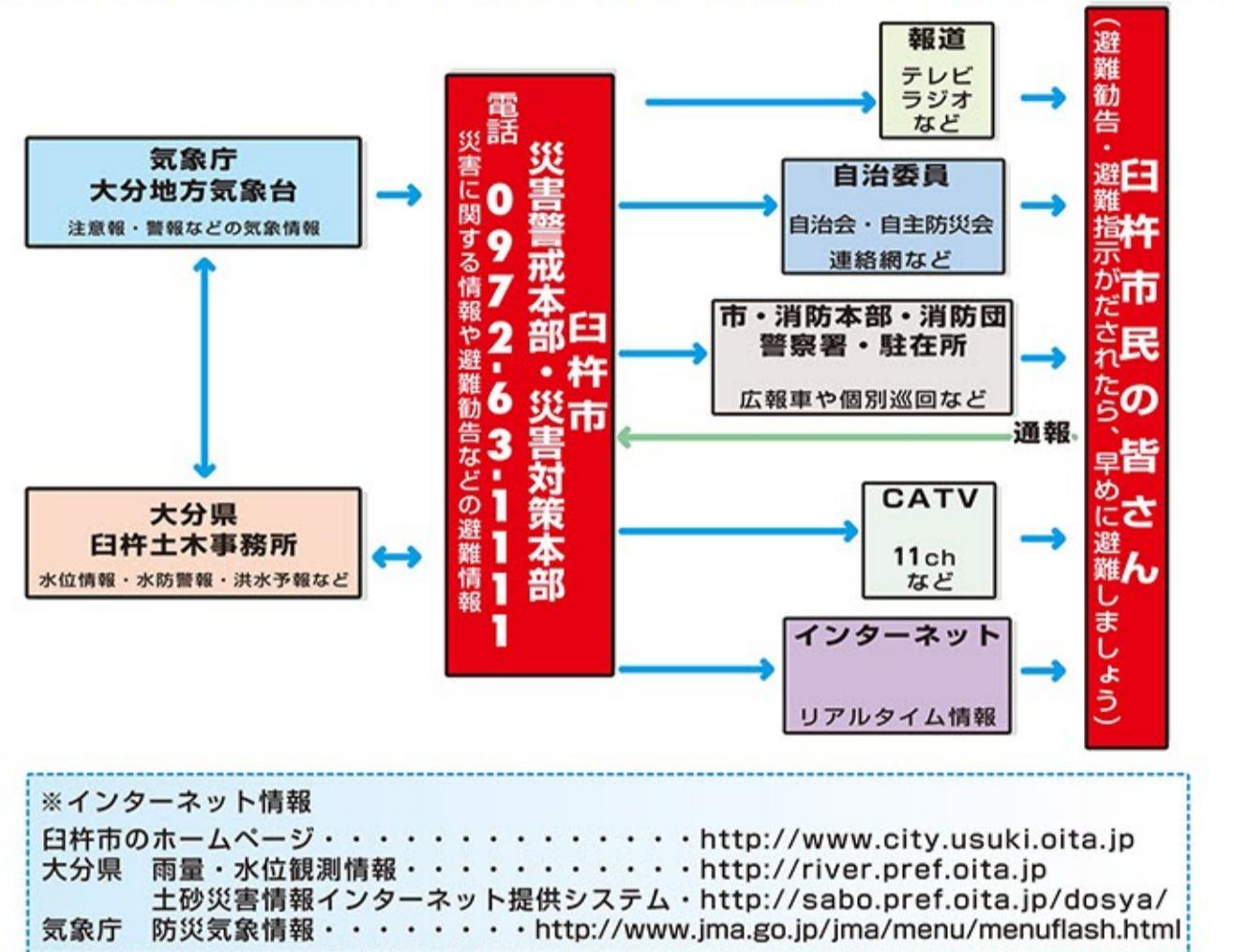
地震が起きたらどうすべきか。日頃から地震発生時の行動の基準を身につけておくことで、被害を最小限におさえることができます。落ちついて行動をしましょう。



◆水位に応じた危険度レベル



◆情報の伝達経路（洪水等災害情報や避難情報の流れ）



緊急連絡先

名前	住所	電話番号

災害用伝言ダイヤル「171」

- 伝言の録音方法 ■伝言の再生方法
- ①②にダイヤル ガイダンスが流れます
- ①自分の登録する ②被災者の伝言を確認する
- ③伝言を録音する ④「登録」を選択する
- ⑤ガイダンスが流れます ⑥「確認」を選択する
- ⑦被災者の電話番号を市外局番から入力する ⑧伝言を入力する
- ⑨「登録」を押して完了 ⑩被災者の電話番号を入力する
- ⑪「検索」を押して完了 ⑫「検索」を押して完了

災害用伝言板「メール」

- 伝言の録音方法 ■伝言の再生方法
- ①②にダイヤル ガイダンスが流れます
- ③「メニューに表示される『災害用伝言板』を選択する
- ④「登録」を選択する ⑤「確認」を選択する
- ⑥「伝言」を選択する ⑦「検索」を押して完了
- ⑧「伝言」を入力する ⑨被災者の電話番号を入力する
- ⑩「登録」を押して完了 ⑪「検索」を押して完了

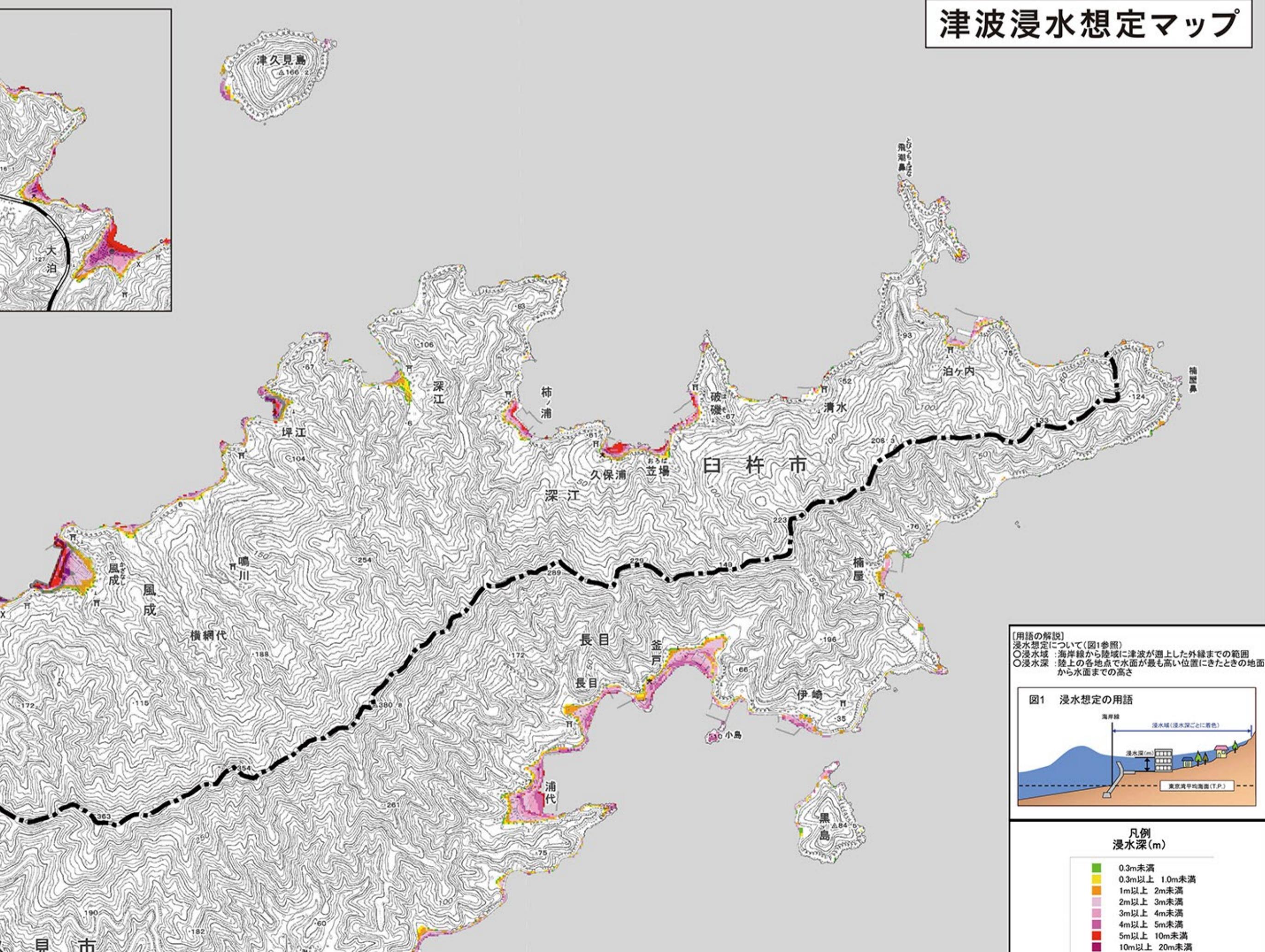
臼杵市防災マップ

-洪水・土砂・津波ハザードマップ-

その6

上浦地区
(板知屋を除く)
深江地区

保存版



風水害対策

台風・大雨・強風…。あなたの家の風水害対策は大丈夫ですか。

家中や周囲をしっかりとチェックしましょう。

家の内外の風水害対策

屋外

- 瓦のひび・割れ・ずれ・はがれがないか確認しましょう。
- トタンのめくれ・はがれがないか確認しましょう。

ベランダ

- 鉢植えや、物干し竿等飛ばされる恐れのあるものは室内へ移動しましょう。

外壁

- 角裂けはないか、脇りや浮きはないか確認しましょう。

プロック塀

- ひび割れや破損箇所はないか確認しましょう。

その他

- 庭木に支柱を立てたり、鉢植えやゴミ箱などは室内に入れておきましょう。
- 浸水の恐れのある場合は、日ごろから土のうなどを準備しておきましょう。
- 危険な場所には近づかないようにしましょう。

屋内

- 停電に備えて懐中電灯や携帯ラジオの準備をする。
- 避難に備えて貴重品などの非常持出品の準備をする。
- テレビ、ラジオ等の大風・台風情報を注意深く聞く。
- むやみに外出しない。
- 断水などの恐れがあるため、飲料水を確保しておく。
- 浸水などの恐れがあるところでは、家財道具や食料品・衣類・寝具などの生活用品を高い場所へ移動する。
- 病人や乳幼児、身体の不自由な人などを安全な場所へ移動させる。
- 避難場所の確認



◆避難するときの注意点

命を守る行動を



危険な状況での避難はできるだけ避け、安全の確保を第一に考えましょう。危険が迫っている場合は、指定された避難場所への避難（水平避難）だけでなく、命を守る行動が必要な避難（垂直避難）があります。

垂直避難 漫水による建物倒壊がないと判断される場合には、自宅や近隣の2階以上の建物に一時的に避難し、救助を待つことを検討してください。

例：夜間などで避難路上の危険箇所がわかりにくい
ひざ上（5cm以上）まで漫水している
漫水は1cm程度だが、用水路などの位置が不明で転落のおそれがある

◆安全に避難するため

動きやすく安全な服装で、隣近所で声を掛け合って

車は使わない
持ち物はリュックで、手は自由に、長靴よりもも付き運動靴で避難しましょう。

マンホールや側溝に注意
洪水の水は茶色く濁っており、水路と道路の境やふたが開いているマンホールの穴は見えません。やむを得ず水の中を移動するときは、棒で足下を確認しながら移動しましょう。

風水害で起こる土砂災害の種類を知ろう
急傾斜地崩壊危険箇所(かけ崩れ)
土石流危険渓流
地すべり危険箇所



かけ崩れは、急な斜面で突然に起こり崩壊に崩れ落ちるため、避難が連れがちになります。

土石流は、谷筋で起りますので、土砂などが水と一緒に流れ下り、速く大きな破壊力を持っています。

地すべりは、一度に広い範囲の地盤が動きだしますので、被害は緩やかですが、発生すると大きな被害をもたらします。

前ぶれ
○かけらの水が湧ります
○かけに亀裂が入ります
○斜面がくくんできます
○雨水が斜面を流れ下がります
○斜面の日に斜面から大きな音がします

前ぶれ
○地盤にひび割れができます
○沢や井戸の水が湧ります
○斜面から水がきこえます
○川の水が湧がった跡が混ざります